

国民の皆様へ（感謝状）

先般の衆院選挙におきましては、国民の皆様の絶大なるご支援をいただき、まことに有難く感謝に堪えません。

郵貯、簡保が民営化されれば、その資金の相当部分が米国債や米国株式市場に流入し、米
国経済ひいては世界経済の活性化に役立つことは明らかであります。すでに外資系ファ
ンド等がおこたりなく準備しているところでありまして、巨大資金が宙に浮くという心配は
まったく無用であります。僻地の郵便局の整理につきましては、優先課題ではございませ
んの、若干の猶予期間を置くこととなります。心の準備をされる時間的余裕はあるうか
と存じます。

このたびは郵政民営化に限らず、改革路線をはじめ内政全般、憲法改正、外交方針、党運
営などすべてを信任いただいたものと理解しております。また、それを押し進めるにふさ
わしい議席を賜りましたことを、厳粛に受け止めております。

改革の天守閣ともいふべき社会保障改革も、より順調に進展することが期待されること
であります。さしあたっては今年10月から、介護保険関係の「ホテルコスト」をご負担い
ただくとともに、今後は軽度の方にはサービスの利用をご遠慮願ひ、自己負担を2割、3
割にするなど大幅な改正を予定しているところでありまして、最終的には現在のご負担額
の3倍程度となる見込みでございます。「改革の痛み」に何卒ご理解とご協力を賜ります
ようお願い申し上げます。

経済大国日本には、もはや弱者などは存在しません。医療保険制度におきましては、高齢
者にも適切な負担をお願いする予定であります。すなわち自己負担と保険料の引き上げで
あります。なお「適切」とは何かが議論の対象になることもありますが、適切とは適切で
ありまして、政府を信任された以上は政府の判断をもって「適切」とご理解いただきたい
と存じます。

高齢者にかぎらず、医療全般にわたって給付の見直しを行い、患者様の経済力に応じた医
療を受けることができるというメリハリのある制度にしていく所存であります。高所得者
が報われる仕組みにしないと社会の活力が損なわれるのであります。経済格差の増大を危険
視する向きのあることは重々承知しておりますが、なによりも経済活性化が第一でありま
して、たとえ方にひとつの可能性もなくとも「勝者」になる夢をもっていたことが活
性化の第一歩であります。

ともかくにも改革を強力に押し進める舞台が用意されました。同志・小泉君に成り代わ
りまして、国民の皆様にご感謝の意を表する次第であります。

平成17年9月 吉田

宗教法人市場原理教附属門前病院 大泉鈍一郎 拝